



マスコットキャラクター「花びとくん」

エコアクション21

## 環境活動レポート

平成24年度

(活動期間：平成24年7月～平成25年6月)

平成25年8月 作成

 株式会社 花菱塗装技研工業

## 目 次

	頁
1. 環境方針、行動指針	3
2. 組織の概要(名称、所在地、事業活動の内容、事業の規模、対象組織)	4・5
3. 平成 24 年度環境目標と目標に対する実績	6
4. 平成 24 年度環境活動の実績と評価	7・8・9・10
5. 中期目標(平成 25 年度～平成 27 年度)	11・12・13
6. 次年度(平成 25 年度)の環境活動計画(主な取組み内容)	13・14
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	15
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	16

## 1. 環境方針

# 環境方針

## 基本方針

株式会社花菱塗装技研工業は、事業活動を行うことにより、環境へ多大な影響を及ぼすことを十分に認識し、地球環境の保全と環境負荷を低減するための環境経営システムを構築する。

また、継続的運用にあたっては、社員一人一人が限りある資源の有効利用を社内外に率先垂範することにより、地球環境に優しい企業及び人創りを目指します。

## 行動指針

1. 当社は、地球環境保全への取組みを企業活動の重要課題の一つと位置づけ、全社員を挙げて、環境保全への継続的な改善を行います。
2. 当社は、環境に配慮した塗料等の主要原材料を始め、事業運営にともない使用される電気、化石燃料、水等のエネルギーの削減及び産業廃棄物の排出量の削減に取組み、環境負荷低減型の事業活動を促進します。
3. 当社は、グリーン購入を推進します。
4. 当社は、環境に配慮した塗装を推進します。
5. 当社は、環境関連法規制及びその他の各種協定等を遵守します。
6. 当社は、全社員への環境教育を充実させるとともに、清掃活動等を通し、社会の一員として地域社会に貢献します。
7. 当社は、この環境方針を全従業員に周知徹底し、外部からの要望に対してもこの方針を公開します。

2012年7月2日改定

株式会社花菱塗装技研工業

代表取締役 稲田 健

## 2. 組織の概要

### (1) 事業所名称及び代表者氏名

株式会社 花菱塗装技研工業  
代表取締役 稲田 健

(2) 所在地(本社) 〒882-0024 宮崎県延岡市大武町 39 番地 70  
(新富支店) 〒889-1403 宮崎県児湯郡新富町大字上富田字井ノ前2370

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

・責任者 環境管理責任者 代表取締役 稲田 健  
・担当者 EA21推進事務局 企画管理室長 藤田 精二  
・連絡先 電話 0982-34-8228  
Fax. 0982-21-5190  
E-mail hanabishi@hanabisi.co.jp  
ホームページURL <http://www.hanabisi.co.jp>

### (4) 事業活動の内容

1. 橋梁塗装
2. 建築塗装
3. プラント塗装
4. プラスト処理
5. 防水加工
6. 発泡ウレタン吹付け塗装
7. 設備・機械等部品の焼付塗装
8. フッ素コーティング加工
9. シルク印刷
10. 自動車部品の加工及び焼付塗装

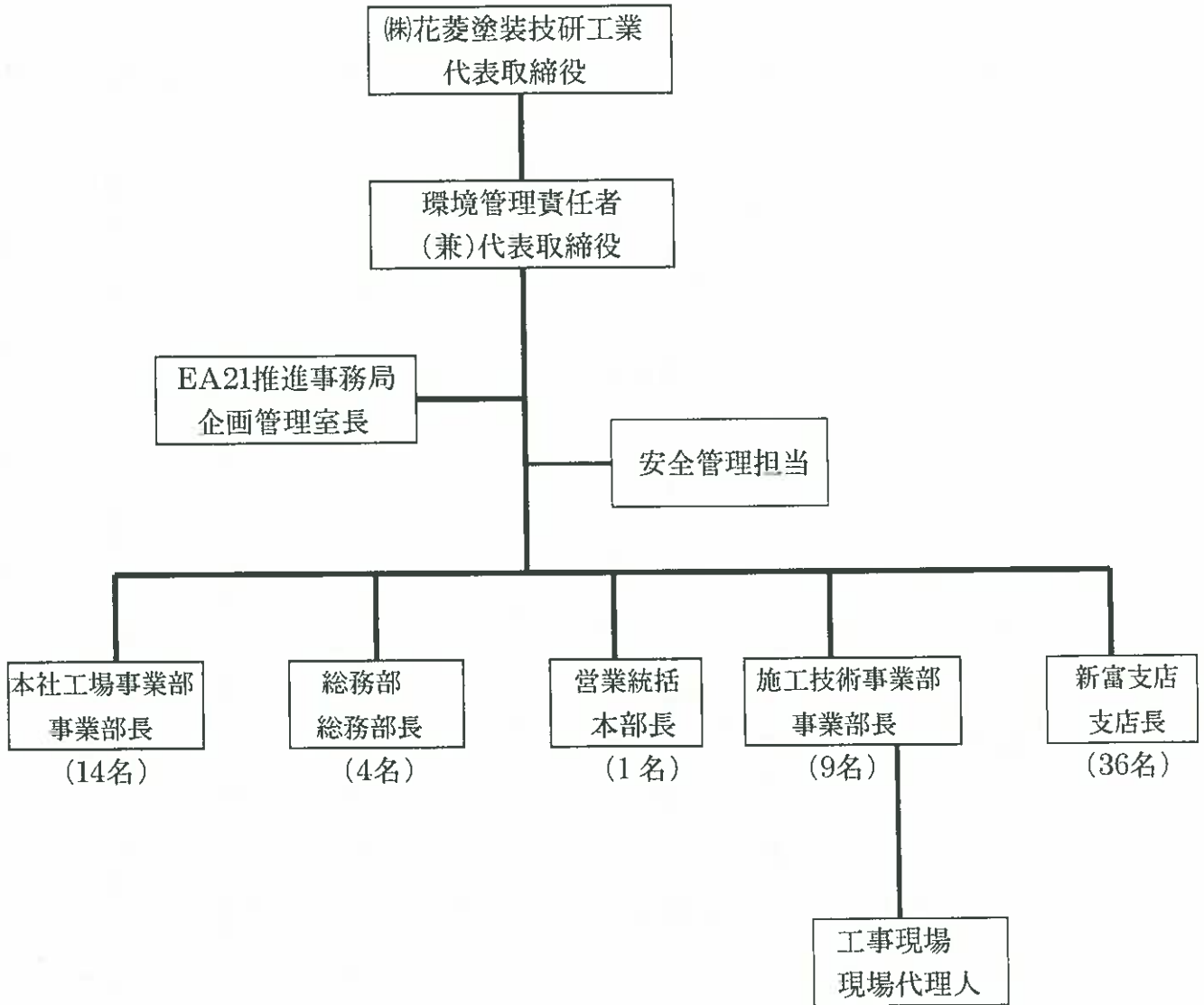
### (5) 事業の規模

資本金 1,000 万円 設立年月日 昭和 18 年 1 月

	単 位	平成22年度	平成23年度	平成 24 年度
売上高	百万円	698	751	782
工事件数	件	126	197	188
従業員数	人	67	69	67
延床面積	m <sup>2</sup>	4,300	4,300	4,300

\* 従業員数は年度末の人員数

(6)対象組織



\* 対象組織の認証範囲拡大経過

本社(総務部・営業本部・施工事業部)	2009年認証登録組織範囲 (17名)
本社工場	2010年認証登録組織範囲拡大 (14名)
新富支店	2013年認証登録組織範囲拡大予定 (36名)

### 3. 平成 24 年度環境目標と目標に対する実績

\* H24 年度環境目標は、H23 年度実績の 2 %削減とする（3 年間で 6 %削減目標）

項目	単位	目標・実績	本社事務所	本社工場	工事現場	新富支店	全社合計	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	H24年目標	51,163	236,833	3,668	460,588	752,252	
	kg-CO <sub>2</sub>	H24年実績	47,216	203,984	7,415	351,542	610,157	
	%	目標/実績	108	116	49	131	123	
	購入電力	kwh	H24年目標	37,829	437,303	214	536,655	1,012,001
		kwh	H24年実績	32,322	359,587	4,484	437,172	833,565
		%	目標/実績	117	122	5	123	121
	LPG	kg	H24年目標	—	20,668	—	79,494	100,162
		kg	H24年実績	—	19,201	—	56,380	75,581
		%	目標/実績	—	108	—	141	133
	ガソリン	ℓ	H24年目標	15,764	973	637	4,725	22,099
		ℓ	H24年実績	14,291	741	359	4,213	19,604
		%	目標/実績	110	131	177	112	113
	軽油	ℓ	H24年目標	—	1,587	802	1,663	4,052
		ℓ	H24年実績	—	2,357	1,850	1,600	5,807
		%	目標/実績	—	67	43	104	70
	廃棄物排出量	t	H24年目標	0.68	6.92	8.50	39.20	55.30
		t	H24年実績	0.63	4.55	308.60	30.80	344.58
		%	目標/実績	108	152	3	127	16
水資源使用量	m <sup>3</sup>	H24年目標	469	476	34	2,635	3,614	
	m <sup>3</sup>	H24年実績	273	279	108	1,579	2,239	
	%	目標/実績	172	171	31	167	161	
	上水道	m <sup>3</sup>	H24年目標	469	476	34	2,365	3,344
		m <sup>3</sup>	H24年実績	273	279	108	1,308	1,968
	河川水	m <sup>3</sup>	H24年目標	—	—	—	—	—
		m <sup>3</sup>	H24年実績	—	—	—	—	—
	井戸水	m <sup>3</sup>	H24年目標	0	0	0	270	270
		m <sup>3</sup>	H24年実績	0	0	0	270	270
	化学物質使用量	トン	H24年目標	—	7.79	4.29	8.7	20.78
トン		H24年実績	—	6.40	3.61	6.9	16.91	
%		目標/実績	—	122	119	126	123	
グリーン商品の購入	アイテム数	H24年目標	2以上	—	—	2以上	4以上	
	アイテム数	H24年実績	89	—	—	74	163	
粉体塗装の提案推進	件	H24年目標	—	1件/年	—	—	1件/年	
	件	H24年実績	—	1件	—	—	1件	
環境に配慮の塗装推進	件	H24年目標	—	—	環境活動遵守	—	環境活動遵守	
	件	H24年実績	—	—	遵守	—	遵守	

\*購入電力の二酸化炭素排出係数は「0.385」を使用しています。

#### 4. 平成 24 年度環境活動の実績と評価

- 評価の表記 : ①取組が完全に実施できている (80%以上)・・・◎  
 ②取組がある程度できている (50～80%未満)・・・○  
 ③取り組みが不足している (30～50%未満)・・・△  
 ④取組がされていない (30%未満)・・・・・・・・・・×

##### (1) 本社事務所の環境活動実績評価

項目	環境活動(主な取組み内容)	単位	目標	実績	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO2	51,163	47,216	—
電力使用量	・冷暖房設備の適温化を徹底する	kwh	37,829	32,322	◎
	・昼休み等の不必要照明の消灯を徹底する				
ガソリン使用量	・車両整備(タイヤ空気圧等)実施を徹底する	ℓ	15,764	14,291	◎
廃棄物排出量	・ごみの分別(分別回収箱利用)を徹底する	t	0.68	0.63	◎
	・使用済用紙の裏面利用を徹底する				
水の使用量	・手洗い時、洗い物時等の節水を励行する	m <sup>3</sup>	469	273	◎
グリーン購入の推進	・エコマーク商品の購入	アイテム数	2以上	89	○

##### (2) 本社工場の環境活動実績と評価

項目	環境活動(主な取組み内容)	単位	目標	実績	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO2	236,833	203,984	—
電力使用量	・昼休み等の工場内消灯を徹底する	kwh	437,303	359,587	◎
	・電気乾燥炉の稼働効率向上対策の推進				
LPG使用量	・LPG乾燥炉の稼働効率向上対策の推進	kg	20,668	19,201	○
ガソリン使用量	・車両整備(タイヤ空気圧等)実施を徹底する	ℓ	973	741	◎
軽油使用量	・車両整備(タイヤ空気圧等)実施を徹底する	ℓ	1,587	2,357	○
廃棄物排出量	・ブース水槽液微生物の添加による交換頻度抑制	t	6.92	4.55	◎
水の使用量	・塗装ブース散水量適正化の推進	m <sup>3</sup>	476	279	◎
化学物質使用量	・指定がない時は、化学物質量の少ない塗料の使用	t	7.79	6.40	○

(3) 工事現場の環境活動実績と評価

項目	環境活動(主な取組み内容)	単位	目標	実績	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO2	3,668	7,415	—
電力使用量	・現場事務所の照明等、節電を徹底する	kwh	214	4,484	◎
	・発電機等のエンジン動力不要時の運転停止を徹底する	ℓ	637	359	◎
	・工事現場動力機器の不要時の運転停止を徹底する	ℓ	802	1,850	○
廃棄物排出量	・プラストサンド回収時の供給水量の適正化(削減)の徹底	t	8.50	308.6	○
水の使用量	・塗装前水洗い作業の効率化を推進する	m <sup>3</sup>	34	108	○
化学物質使用量	・指定がない場合は化学物質量の少ない塗料の使用推進	t	4.29	3.61	○

(4) 新富支店の環境活動実績と評価

項目	環境活動(主な取組み内容)	単位	目標	実績	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO2	460,588	351,542	—
電力使用量	・事務所の冷暖房設備の適温化	kwh	536,655	437,172	◎
	・工場、事務所の不必要照明の消灯				
LPG使用量	・LPG乾燥炉運転時の空ラックの削減	kg	79,494	56,380	◎
ガソリン使用量	・車輛整備実施の徹底	ℓ	4,725	4,213	○
軽油使用量	・車輛整備実施の徹底	ℓ	1,663	1,600	○
廃棄物排出量	・廃棄物分別の徹底	t	39.2	30.8	◎
水の使用量	・手洗い、洗い物時等の際の節水励行の徹底	m <sup>3</sup>	2,635	1,579	◎
化学物質使用量	・指定のない時は含有量の少ない塗料の推進	t	8.70	6.90	○
グリーン購入の推進	・事務用品等のエコマーク商品購入の推進	アイテム	2商品以上	80商品	○



(5) 全社（組織の全範囲）の実績と評価

項目	環境活動(主な取組み内容)	単位	目標	実績	評価	
二酸化炭素排出量		kg-CO2	782,252	610,157	—	
	電力使用量	・事務所の冷暖房設備の適温化 ・工場、事務所の不必要照明の消灯	kwh	1,012,001	833,565	○
	ガソリン使用量	・車輛整備実施の徹底	ℓ	22,099	19,604	○
	軽油使用量	・車輛整備実施の徹底	ℓ	4,052	5,807	○
	廃棄物排出量	・廃棄物分別の徹底	t	55.3	344.6	○
水の使用量	・手洗い、洗い物時等の際の節水励行の徹底	m <sup>3</sup>	3,614	2,239	◎	
化学物質使用量	・指定のない時は含有量の少ない塗料の推進	t	20.8	16.9	○	
粉体塗装の提案推進	・粉体塗装物件の拡大	件	1件/年	1件	○	
環境配慮の塗装推進	・環境活動の遵守	—	遵守	遵守	○	
グリーン購入の推進	・事務用品等のエコマーク商品購入の推進	アイテム	4商品以上	163商品	○	

(6) 全社（組織の全範囲）の環境活動取り組み結果の考察

①電力使用量

・不要照明消灯の徹底、冷暖房の適温化等の活動で目標に対し18%削減できた。尚、計測不可ではあるが本社事務所照明を蛍光灯からLED照明に変更（H24年6月）した効果もあると考える。

②LPG使用量

・目標に対し25%削減できた主な要因は、新富支店の生産性向上の取り組みによる乾燥炉の効率アップによるLPG使用量減である。

③ガソリン使用量

・目標に対し11%削減できたが、これは新富支店のガソリン燃料社有車（2台）の中の1台をハイブリッド車に変更（H24年7月）したことによる効果も含まれる。

④軽油使用量

- ・目標に対し43%増であるが、使用量増の主な理由は工事現場業務の効率向上を目的に新規にWPトラック(2t)1台を新規購入(H24年12月)し、使用したことによるものである。

⑤廃棄物排出量

- ・目標排出量55トンに対して実績排出量が344トンであるが、これは本年度施工の大型工事物件の仕様にサンドブラスト施工があったことから、施工後のサンド回収と廃棄(292トン)によるものである。只、排出量を最小限にすべくドライ回収を実施して排出量の削減に努めた。

⑥水の使用量

- ・目標に対し、38%削減できたが環境活動計画(H24年度)に掲げた項目以外の節水効果が表れているものとする。

⑦化学物質使用量

- ・目標に対し19%減であるも、当社で塗料の選定できる範囲は限られているが、その中で化学物質含有量の少ない塗料の使用を推進する等の効果であるとする。

⑧グリーン商品の購入

- ・目標商品数を大きく上回っているが、これは予想以上にグリーン商品が市場に流通していることによるものであると判断している。

⑨粉体塗装の提案推進(粉体塗装の拡大)

- ・粉体塗装は溶剤を使用しないことから、1件/年間以上の拡大を目標に提案推進を行っているが本年度は1件の粉体塗装を拡大することができた。

⑩環境に配慮した塗装の推進

- ・主に塗装工事(工事現場)で推進しているが、施工時の関連法令の遵守は当然のこととし、その他に塗料指定がない場合は化学物質含有量の少ない塗料を使用する等の環境に配慮した塗装推進を実施している。

## 5. 中期環境目標(平成 25 年度～平成 27 年度)

環境目標(中期)は平成 23 年度実績を基準として毎年 2% (平成 27 年度までに 8%) を削減することとし、次のとおり定めた。なお、従来と同様に「本社事務所」「本社工場」「工事現場」「新富支店」の環境活動単位で各々の中期環境目標を定めて環境活動を実施する。

なお、各環境活動単位で平成 23 年度実績を基準値として、毎年 2%削減を環境目標とする。

(1)本社事務所		(基準値)		基準-4%	基準-6%	基準-8%
項目	単位	H23 年実績	H24 年実績	H25 年目標	H26 年目標	H27 年目標
・二酸化炭素排出量	kg-CO2	52,208	47,216	50,119	49,075	48,031
電力使用量	kwh	38,602	32,322	37,057	36,285	35,513
ガソリン使用量	ℓ	16,086	14,291	15,442	15,120	14,799
・廃棄物排出量	t	0.70	0.63	0.67	0.65	0.64
・水使用量	m <sup>3</sup>	479	273	459	450	440
・グリーン商品の購入	アイテム数	—	89	100 以上	100 以上	100 以上

(2)本社工場		(基準値)		基準-4%	基準-6%	基準-8%
項目	単位	H23 年実績	H24 年実績	H25 年目標	H26 年目標	H27 年目標
・二酸化炭素排出量	kg-CO2	241,666	203,984	231,999	227,166	222,332
電力使用量	kwh	446,228	359,587	428,378	419,454	410,529
LPG使用量	kg	21,090	19,201	20,246	19,824	19,402
ガソリン使用量	ℓ	993	741	953	933	913
軽油使用量	ℓ	1,620	2,357	1,555	1,522	1,490
・廃棄物排出量	t	7.07	4.55	6.78	6.64	6.50
・水使用量	m <sup>3</sup>	486	279	466	456	447
・化学物質使用量	t	7.95	6.40	7.63	7.47	7.31
・粉体塗装の推進(拡大)	件数/年	—	1件	1件以上	1件以上	1件以上

(3)工事現場		(基準値)		基準-4%	基準-6%	基準-8%
項目	単位	H23年実績	H24年実績	H25年目標	H26年目標	H27年目標
・二酸化炭素排出量	kg-CO2	3,743	7,415	3,593	3,518	3,443
力使用量	kwh	219	4,484	210	205	201
ガソリン使用量	ℓ	650	359	624	611	598
軽油使用量	ℓ	819	1,850	786	769	753
・廃棄物排出量	t	8.70	308.60	8.30	8.10	8.00
・水使用量	m <sup>3</sup>	35	108	33	32	32
・化学物質使用量	t	4.38	3.61	4.20	4.11	4.02
・環境に配慮した エコ塗装の推進	件数	—	エコ塗装の 推進	エコ塗装の 推進	エコ塗装の 推進	エコ塗装の 推進

(4)新富支店		(基準値)		基準-4%	基準-6%	基準-8%
項目	単位	H23年実績	H24年実績	H25年目標	H26年目標	H27年目標
・二酸化炭素排出量	kg-CO2	469,988	351,542	451,187	441,787	432,388
電力使用量	kwh	547,608	437,172	525,703	514,751	503,799
LPG使用量	kg	81,117	56,380	77,872	76,249	74,627
ガソリン使用量	ℓ	4,822	4,213	4,629	4,532	4,436
軽油使用量	ℓ	1,697	1,600	1,629	1,595	1,561
・廃棄物排出量	t	40.00	30.80	38.40	37.60	36.80
・水(上水)使用量	m <sup>3</sup>	2,689	1,579	2,581	2,527	2,473
・化学物質使用量	kg	8.90	6.90	8.50	8.30	8.10
・グリーン購入の推進	アイテム数	—	74商品	80商品	80商品	80商品

(5) 全社(全組織)		(基準値)		基準-4%	基準-6%	基準-8%
項目	単位	H23 年実績	H24 年実績	H25 年目標	H26 年目標	H27 年目標
・二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	767,605	610,157	736,900	721,548	706,196
・電力使用量	kwh	1,032,657	833,565	991,350	970,697	950,044
・LPG使用量	kg	102,207	75,581	98,118	96,074	94,030
・ガソリン使用量	ℓ	22,551	19,604	21,648	21,197	20,746
・軽油使用量	ℓ	4,136	5,807	3,970	3,887	3,805
・廃棄物排出量	t	56.43	344.58	54.17	53.04	51.91
・水使用量	m <sup>3</sup>	3,688	2,239	3,540	3,466	3,392
・化学物質使用量	t	21.20	16.91	20.35	19.92	19.50
・グリーン購入の推進	アイテム数	—	163	180	180	180
・粉体塗装の推進(拡大)	件	—	1 件	1 件以上	1 件以上	1 件以上
・エコ塗装の推進	—	環境活動遵守	環境活動遵守	環境活動遵守	環境活動遵守	環境活動遵守

## 6. 次年度(平成 25 年度)環境活動計画(主な取組み内容)

### (1) 本社事務所における環境活動計画

- ・冷暖房使用時の適温化(冷房 28℃程度、暖房 20℃程度)の徹底
- ・昼休みや残業時には、不必要な照明の消灯の徹底
- ・車輛整備(タイヤ空気圧、オイル交換等)の徹底
- ・社有車運行実績管理表による燃費効率チェック(月次)の徹底
- ・ごみの分別(分別回収ボックス使用)の徹底
- ・使用済み用紙の裏面利用の徹底
- ・手洗い時、洗い物時等の際の節水励行の徹底
- ・毎週の漏水チェックの実施
- ・事務用品等のグリーン購入を推進する

(2) 本社工場における環境活動計画

- ・休憩時間等不稼働時の工場内消灯の徹底
- ・休憩室エアコンの稼働を必要最小限にする
- ・L P G 乾燥炉の稼働効率向上対策の推進  
(塗装品の乾燥焼付を可能な限り纏めて実施する)
- ・塗装ブース水槽液の交換頻度の削減  
(微生物薬剤投入による水槽液の長期使用)
- ・塗装ブースの散水量(散水頻度と量)の削減
- ・顧客の塗料指定がない場合は、化学物質含有量の少ない塗料の使用を推進
- ・粉体塗装の提案推進

(3) 工事現場における環境活動計画

- ・現場事務所の照明等、節電の徹底
- ・発電機等のエンジン動力不要時の運転停止の徹底
- ・ブラスト使用サンド回収時の供給水量の削減
- ・水洗い作業の効率化の推進
- ・顧客の塗料指定がない場合は、化学物質含有量の少ない塗料の使用を推進
- ・環境に優しいエコ塗装の推進

(4) 新富支店における環境活動計画

- ・休憩時間等不稼働時の工場内消灯の徹底
- ・休憩室エアコンの稼働を必要最小限にする
- ・L P G 乾燥炉の稼働効率向上対策の推進
- ・社有車の低燃費車への移行推進
- ・社有トラックの整備(タイヤ空気圧、オイル交換等)の徹底
- ・分別廃棄の徹底
- ・手洗い時、洗い物時等の際の節水励行
- ・顧客の塗料指定がない場合は、化学物質含有量の少ない塗料の使用を推進
- ・事務用品等のグリーン購入を推進

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 事業活動に関連する主な法規

法令等の名称	内 容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業活動及び工事等で発生する廃棄物	遵守
消防法	塗料・シンナーの保管方法や保管数量	遵守
電気事業法	電気工作物の点検	遵守
高圧ガス法・L Pガス法	ガス発生装置の点検	遵守
P R T R法	化学物資使用量の把握管理	遵守
道路交通法	道路占用	遵守
有機溶剤中毒予防規則	有機溶剤取扱い作業	遵守
延岡市環境基本条例	事業者の環境に関する責務	遵守
新富町の環境をまもる条例	事業者の環境に関する責務	遵守
新富町河川をきれいにする条例	事業者の事業排水に関する責務	遵守
労働安全衛生法	作業環境測定、健康診断	遵守
建設業法	建設業許可	遵守

### (2) 違反訴訟などの有無

当社の事業活動に関わる環境関連法規などの遵守状況を確認した結果、違反はありません。また、行政等関係機関からの指摘、違反及び訴訟もありませんでした。

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度（平成 24 年度）から環境活動開始の新富支店を含む環境目標については、売上高の前年対比増加（H24 年実績／H23 年実績＝104％）にも関わらず、当社に於いて環境目標の最重要項目と位置付ける二酸化炭素排出量の削減目標を達成できたことは、環境活動の取組による成果であると評価している。

次年度（平成 25 年度）からは、各部門に環境活動推進員を選任配置して部門内の環境活動の推進

及び活動状況のチェックを行う仕組み（体制）を検討したいと考える。

また、新富支店を認証範囲（対象組織）に拡大したことにより、全社（全組織）における環境経営システムの運用で、当社の環境活動が一層進化していくものと期待している。